



「生涯学習」のすゝめ

海や山の恋しい季節となりました。皆様におかれましては日頃より、指導室、安房分室の取組に御理解、御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、皆さんは「生涯学習（しょうがいがくしゅう）」と聞くとどんなことをイメージしますか？

本号では、3つの「教育」の視点から、「生涯学習」について考えていきたいと思ひます。

「生涯学習」のイメージ

※【参考資料】

中央教育審議会生涯学習分科会制度問題小委員会（第1回）配布資料（2007年6月28日）

生涯学習

= 「学ぶ者」に着目した概念

教育による学習

= 「教える者」と「学ぶ者」による行為

学校教育

による学習

- ・学齢児童、生徒等に対する教育（幼、小、中、高、大学、専修学校等）
- ・社会人の大学院入学

家庭教育

による学習

社会教育

（=学校・家庭以外の
広く社会における教育）

による学習

- ・国や地方公共団体や公民館等が行う講座
- ・大学、短大等の学校が行う公開講座
- ・青少年団体等が行う青少年教育
- ・民間教育事業者の行う通信教育、カルチャースクール
- ・個人経営のピアノ教室等の個人による教育

自己学習

= 「学ぶ者」のみによる行為

- ・読書等の自主学習
- ・スポーツ活動
- ・文化活動
- ・奉仕活動
- ・体験活動
- ・趣味やレクリエーション活動における学習

「生涯学習」とは、人々が生涯にわたり様々な場や機会において行うあらゆる学習のことです。「生涯学習」は「教育による学習」と「自己学習」の2つに分類できます。それでは、「生涯学習」についてもう少し詳しくみていきましょう。



教育による学習は「教える者」と「学ぶ者」による行為で成り立ちます。

そして、「教育」は学校教育・家庭教育・社会教育の3つに分類できます。学校教育では、先生と児童・生徒、家庭教育では、保護者と子どものように「教える者」と「学ぶ者」を捉えることができます。

社会教育は範囲が広がります。例えば、公民館で開催されている『ふるさと歴史講座』では地域の歴史に詳しい指導者と受講者、子ども会やお祭りでは、地域行事を運営する人と地域行事に参加し

たい人、スポーツ少年団では、監督やコーチと子ども等々、様々な立場や年齢の人が、「教える者」又は「学ぶ者」となり行われるのが社会教育です。

これに対して、「学ぶ者」のみによる行為で成り立つのが、自己学習です。読書等の自主学習をはじめ、スポーツ活動や文化活動、奉仕活動等があげられます。

このように我々は、日々学習をしています。そして、「生涯学習」の中でも、子どもたちの学びを支える「教育」はとても大切であると考えられます。Withコロナ、持続可能な社会の創造等、地域ごとに様々な課題を抱える現状において、「学校教育」や「家庭教育」で支えることが難しい部分については、「社会教育」という学び方も選択肢の一つと考えてみてはいかがでしょうか。

版画「里見左馬頭義弘相州城ヶ島にて北条と戦ふ」(館山市立博物館所蔵) ※館山市立博物館許諾済み



南の社教の「ズームイン！南房総」Vol.3

南房総各地には学習素材としての魅力や教材として価値のある地域資源（自然、歴史、文化等）が多く存在しています。本日は、その中から安房の歴史をもとに構成された地域教材である、館山市の社会科特設単元「戦国大名里見氏と館山」にズームイン！

館山市では、子どもたちの「ふるさと館山」への思いを育てていくために、戦国時代から江戸時代の初期までおよそ170年間にわたって安房地方を治めた「里見氏」について小学校6年生の社会科で4時間、中学校2年生の社会科で4時間の計8時間をかけて学ぶことになっています。今年、里見家最後の当主、里見忠義（さとみただよし）が没して400年！館山市博物館において、収蔵資料展「里見家断絶とその後の安房の人々 ー里見忠義没後400年ー」が開催されています。

里見氏や収蔵資料展、館山市博物館について、詳しくは下記QRコードからご覧ください。皆さんのお住いの地域にも価値のある地域教材が存在していると思います。是非ともお近くの公民館や図書館、博物館等へ足をお運びいただき、調べてみてはいかがでしょうか。



合言葉は「笑顔のシャワー！」
南の社教の「ズームイン！南房総」
次回もお楽しみに♪

